お客さま本位の業務運営に関する取組状況

2026年11月13日

横浜農業協同組合

JA横浜 Yokohama　JAバンク　JA共済

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および ＫＰＩ実績値の公表について

当組合は、平成15年4月創立以来、理念として「人と自然を大切にし、社会の発展と豊かな暮らしの実現に貢献してまいります」を掲げ、「みなさまから信頼されるJA、地域から必要とされるJA、社会に誇れるJA」を基本姿勢（スローガン）としております。

この理念および基本姿勢のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、役職員一同、この理念と基本姿勢（スローガン）に基づき、組合員・利用者・地域の皆さまの負託に応えられるための取り組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通ＫＰＩ」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（ＪＡ共済連）が、共同で事業運営しております。

目次

Ⅰ.取組状況

1.お客さまへの最適な金融商品、共済仕組み・サービスの提供（事業別） ..... **P4 ～5**

（1） 金融商品

（2） 共済仕組み・サービス

2.お客さま本位のご提案と情報提供（事業別） ..... **P6～12**

（1）信用の事業活動

- ➢資産運用の提案に関する基本方針
- ➢投資判断に必要な情報ツールの整備
- ➢資産運用のご相談と取り組み結果
- ➢手数料・費用の説明にかかる取り組み
- ➢非対面取引に関するサポート体制
- ➢アフターフォローに関する考え方
- ➢資産運用セミナー等および金融教育

（2）共済の事業活動 ..... **P13~16**

- ➢共済仕組み・サービスのご提案
- ➢情報提供・契約締結時の対応
- ➢高齢者対応
- ➢アフターフォローに関する考え方

3.利益相反の適切な管理 **P17**

4.お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 **P18**

Ⅱ.比較可能な共通KPI

1.運用損益別顧客比率(投資信託・ファンドラップ) ..... **P19~20**

2.投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン ..... **P21~23**

3.投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン ..... **P24~26**

Ⅰ.取組状況

1 お客さまへの最適な金融商品、共済仕組み･サービスの提供（事業別）①

（1）金融商品

原則２本文および（注）
原則３（注）
原則６本文および（注2、3、6、7）
補充原則1～5本文および（注）

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、適合性チェックシートを活用して、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客さまのニーズに合った商品を取り入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取り扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。
- なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取り組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始しております。

＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2026年3月末時点）＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 （前年度末：1）	9 （前年度末：9）
株式型	6 （前年度末：6）	8 （前年度末：7）
REIT型	2 （前年度末：2）	3 （前年度末：3）
バランス型	13 （前年度末：11）	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

＜商品選定の考え方＞

長期投資
- 長期投資を前提とした投資信託であること

運用実績
- 過去の運用実績が相対的に良好であること

運用体制
- 運用体制について外部機関の評価を得ていること

手数料
- 手数料が良心的な水準であること

将来性
- 資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと

※商品選定の考え方：JAバンクHP
https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/

Ⅰ.取組状況

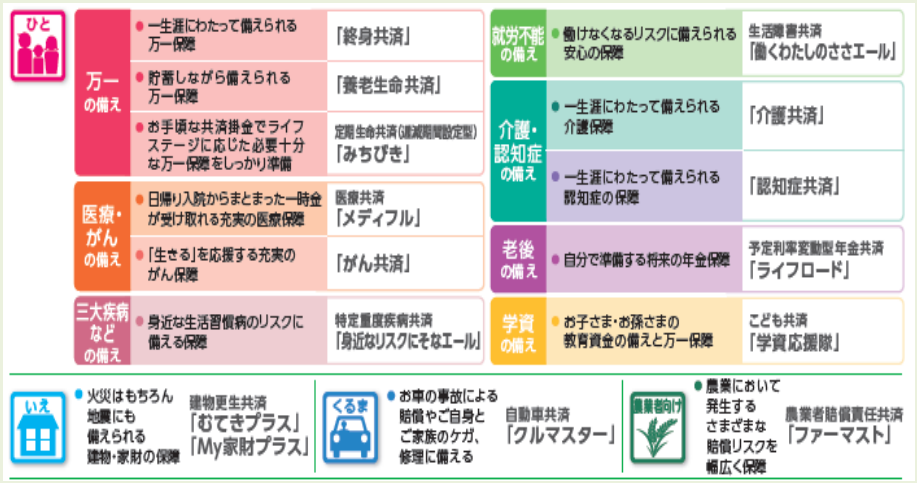
1 お客さまへの最適な金融商品、共済仕組み・サービスの提供（事業別）②

（2）共済仕組み・サービス

原則２本文および（注）
原則３（注）
原則６本文および（注2、3、6、7）
補充原則1～5本文および（注）

- 当組合は、お客さまが、生活や農業を取り巻く様々なリスクに対し、安心して備えられるよう、最良・最適な共済の仕組み・サービスを提供しております。
- 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- Webマイページ登録数11,828人、ＪＡ共済アプリ登録数5,425人となりました。
- なお、共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、お客さまの声や実際に販売した顧客情報等について相互に連携しております。

多様なニーズにお応えするひと・いえ・くるまの総合保障＞



＜共済種類の契約件数＞

2026年3月末時点

共済種類	契約件数（件）
生命総合共済	4,885
建物更生共済	4,464
自動車共済	22,072

＜Webマイページ・ＪＡ共済アプリ＞

2026年3月末時点

Webマイページ登録数（人）	ＪＡ共済アプリ登録数（人）
11,828	5,425

Ⅰ.取組状況

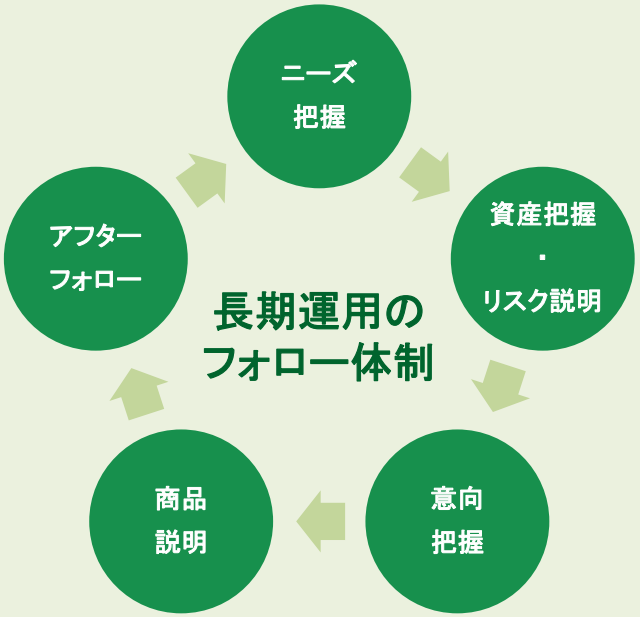
2　お客さま本位のご提案と情報提供（事業別）①

信用の事業活動（資産運用の提案に関する基本方針）

原則2本文および（注）
原則6本文および（注1、5）

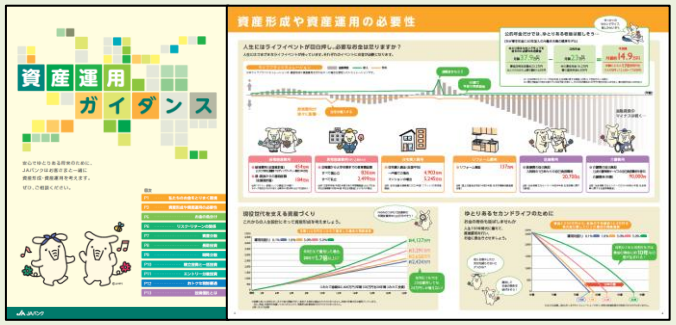
- お客さまの利益の最大化を最優先に、長期の資産運用に向けた継続的なサポートサイクルを運用しています。また、ご契約までの流れは下図のステップに沿って実施します。
- 商品を先に決めるのではなく、お客さまの投資を行う必要性や投資の基本をお伝えしたうえで、ご意向や目的に合った商品をご提案します。
- アフターフォローを実施し、お客さまのライフステージに合わせた提案活動を行っています。対話を重ねながら見直しを行い、運用開始後も長期にわたり伴走します。

お客さま本位の継続的なサポートサイクル



長期運用のフォロー体制のステップ

1.お客さまのお金を取り巻く環境とライフイベントを鑑み、資産運用ガイダンスを活用して運用の必要性をお伝えします。
2.お金の色分けや、リスク・リターンの基本を説明し不安解消に努めます。
3.金融資産、収入、投資目的、知識、ライフプラン等を把握します。
4.お客さまの意向に沿って、商品、投資手法等をご提案します。
5.アフターフォローで状況の変化を確認し、必要に応じて最適な提案を行います。



【資産運用ガイダンス】

Ⅰ.取組状況

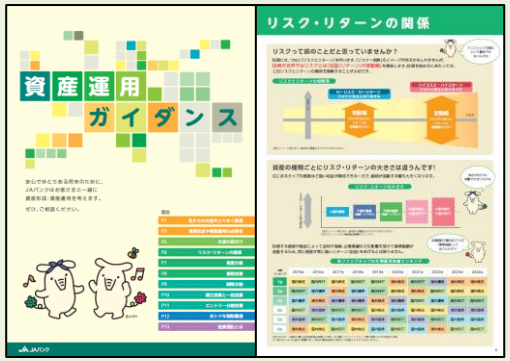
2　お客さま本位のご提案と情報提供（事業別）②

信用の事業活動（投資判断に必要な情報ツールの整備）

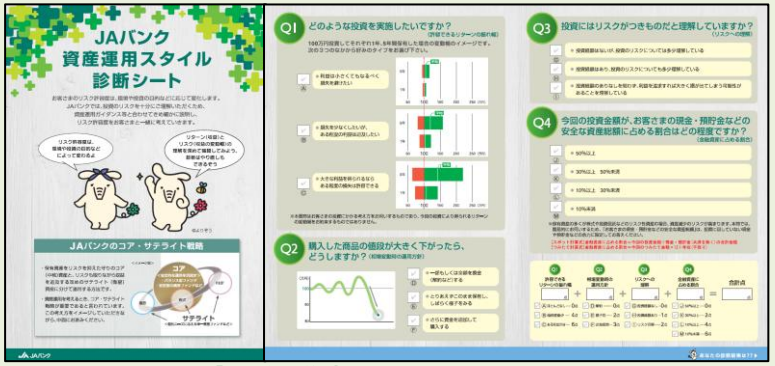
原則4
原則5本文および（注1～5）
原則6本文および（注1～5）

- 資産運用ガイダンス、JAバンク資産運用スタイル診断シート、ITツール（投信提案アプリ）、ＪＡバンクセレクトファンドマップを活用し、お客さまがご自身の投資判断に基づいて商品を選択できるよう、簡潔で分かりやすい仕組みを整えております。
- 重要情報シートに基づき、商品のリスク・費用（手数料等）・注意点を丁寧にご説明し、お客さまが投資判断に必要な情報を提供します。

投資リスク等のご案内



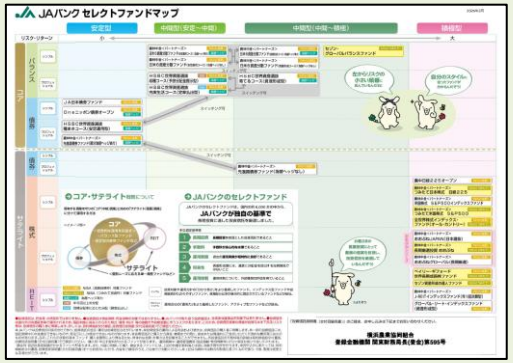
【資産運用ガイダンス】



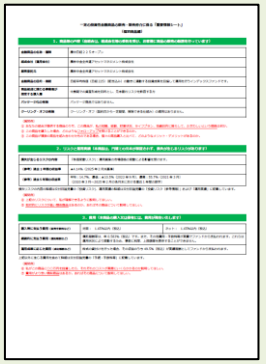
【JAバンク資産運用スタイル診断シート】

投資商品選定のご案内


【投信提案アプリ】



【JAバンクセレクトファンドマップ】


【重要情報シート】

Ⅰ.取組状況

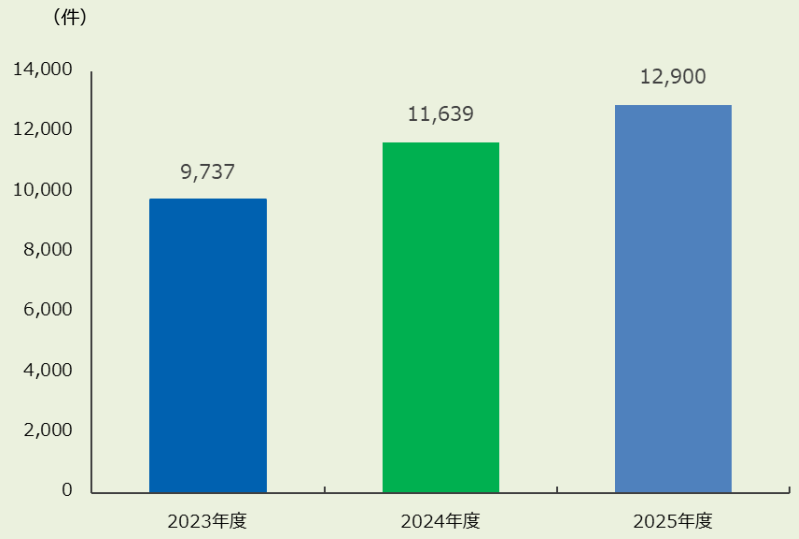
2　お客さま本位のご提案と情報提供（事業別）③

信用の事業活動（資産運用のご相談と取り組み結果）

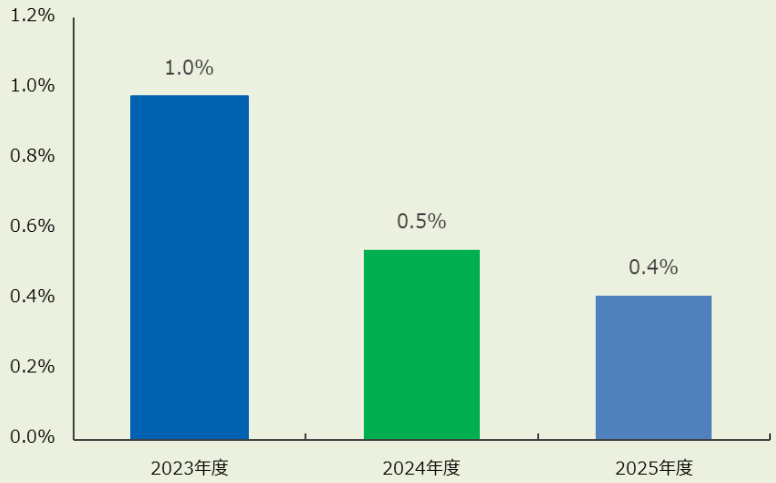
原則２本文および（注）
原則５本文および（注1～5）
原則６本文および（注1、2、4、5）

- 資産運用セミナーの開催・資産運用相談会・訪問活動を中心にお客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産・ニーズや目的に合わせてNISA制度を含めた情報の提供を行います。
- 投信つみたて契約者数はNISA制度を活用したつみたて投資枠を中心につみたて投資を行うお客さまの増加により、購入額に占める毎月分配金ファンドの比率が低下しています。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



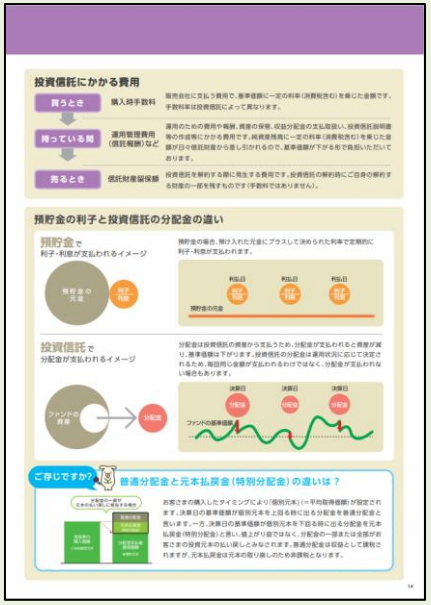
Ⅰ.取組状況

2　お客さま本位のご提案と情報提供（事業別）④
信用の事業活動（手数料・費用の説明にかかる取り組み）

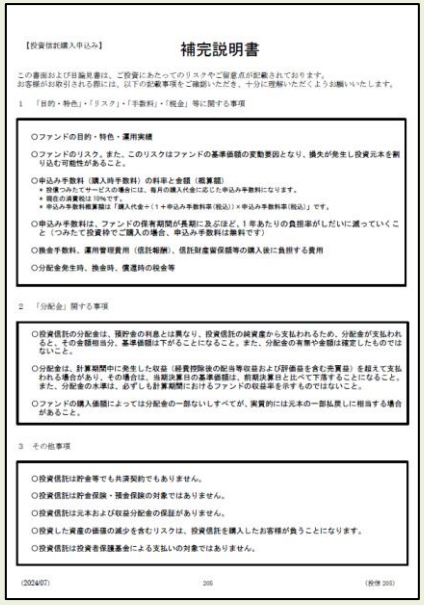
原則4
原則5本文および（注2、3、5）
原則6本文（注1、5）

- 金融商品の勧誘・販売につきましては、資産運用ガイダンスを始めとして、目論見書、契約締結前交付書面、補完説明書、重要情報シート等に基づき、手数料その他費用について説明し、お客さまがご理解されたかの確認をさせていただいております。
- 投資信託の購入時の手数料は、手数料早見表やITツール等で算出した手数料概算の金額と手数料率をご説明することに加え、保有期間が長期に及ぶほど1年あたりの負担率は逓減していくことを説明しています。
- ファンドラップサービスの運用にかかる費用について一般的な投資信託と比較してご説明をしています。

＜投資信託　手数料等提示資料＞

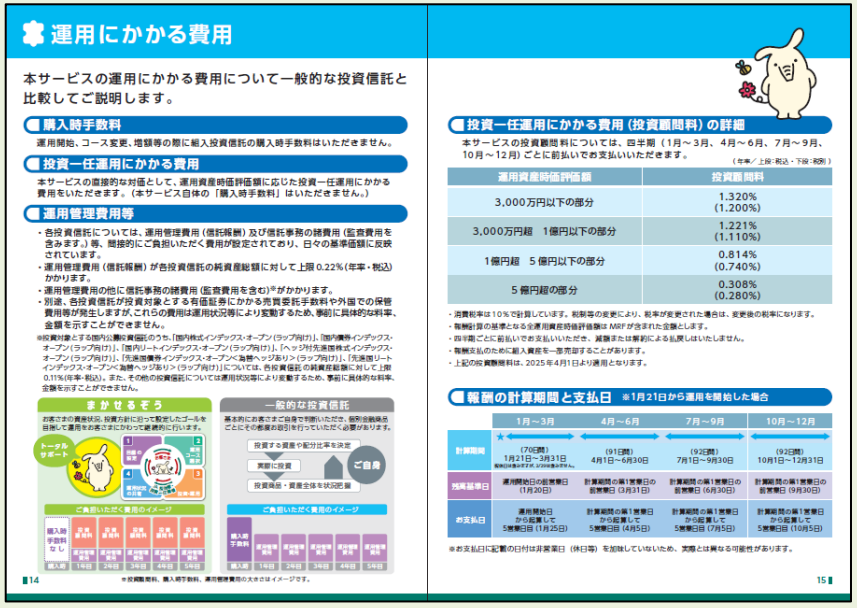


【資産運用ガイダンス】



【補完説明書】

＜ファンドラップサービス　手数料等提示資料＞



【ファンドラップサービス　パンフレット】

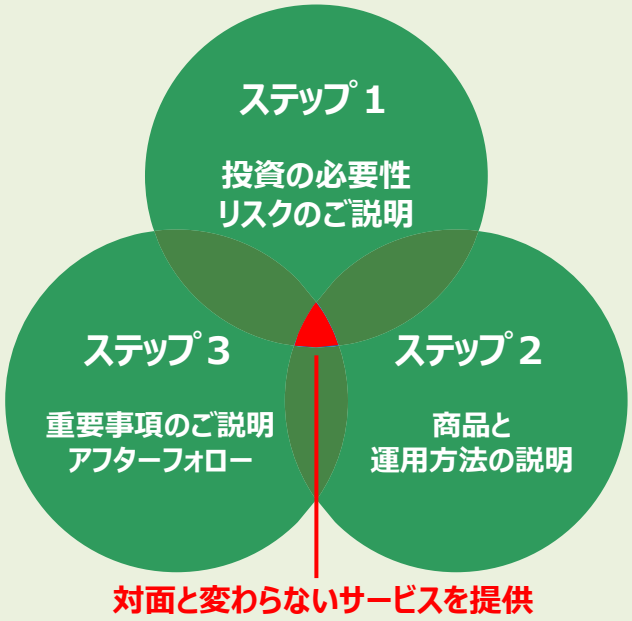
Ⅰ.取組状況

2　お客さま本位のご提案と情報提供（事業別）⑤
信用の事業活動（非対面取引に関するサポート体制）

原則2本文および（注）
原則4
原則5本文および（注1～5）
原則6本文および（注1～5）

- 2023年4月からお客さまのスマートフォン等から投資信託の手続きが行えるようになりました。
- 契約手続きはお客さま自身が行いますが、サポートを必要としている方については対面により投資信託の仕組み、ファンドの選択、契約締結前交付書面等について担当者がわかりやすく説明を行い、安心して投資を始められる環境を提供しております。
- スマートフォンの操作に不安があるお客さまにも安心してご利用いただけるよう、操作マニュアルをご用意し、職員が寄り添って丁寧にご案内いたします。
- アフターフォローのご相談等をご希望される場合は、支店職員が対応して長期投資の実現に向けて継続的にサポートできる体制を整えています。

＜対面サポートを必要としている方への流れ＞



「対面と変わらないサービス」ってなに？

ステップ1：非対面取引を希望の方でも、投資の必要性やリスクの付き合い方を対面でご説明します。
ステップ2：お客さまのご意向に合う商品、運用戦略をご案内します。
ステップ3：重要事項についてわかりやすく、ご説明します。また、アフターフォローをご希望される方は年1回、面談、電話からお選びいただけます。



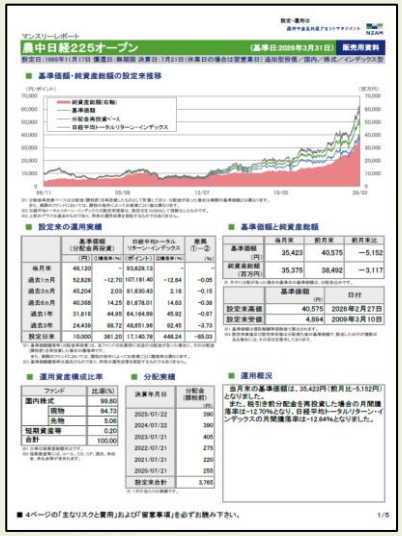
Ⅰ.取組状況

2　お客さま本位のご提案と情報提供（事業別）⑥
信用の事業活動（アフターフォローに関する考え方）

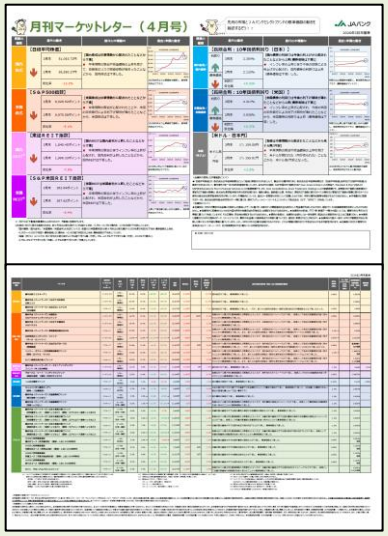
原則2本文および（注）
原則5本文および（注3、5）
原則6本文および（注1、5）

- 投資信託、ファンドラップサービスを契約していただいたお客さまに対しては、定期的なアフターフォローに加え、金利や市場動向が大きく変動した場合はお客さまの不安を解消するために、適宜アフターフォローを行っています。
- JAのファンドラップサービスはゴールベースアプローチを採用しており、お客さまが安心して目標達成できるよう伴走しております。契約後は、お客さまが安心して長期投資を実現できるよう、半年に一度、アフターフォローを実施し、ご相談いただけるサポート体制を整えております。

＜アフターフォロー資材＞



【マンスリーレポート】



【月間マーケットレター】

＜ゴールベースアプローチとは＞

- お客さまやご家族の人生の目標達成に向けて、資産を運用・進捗管理していく手法です。
- 運用にかかる定期的なレビューを通じて、ゴールに向けた進捗状況を確認・共有するとともにゴール実現に向けたアドバイスを通じてお客さまに伴走します。



【ファンドラップサービス　パンフレット】

Ⅰ.取組状況

2　お客さま本位のご提案と情報提供（事業別）⑦
信用の事業活動（資産運用セミナー等および金融教育）

原則2および（注）
原則5本文および（注1～5）
原則6本文および（注1～5）

- 2024年4月から一部の支店において「資産相談会」「顧客セミナー」を実施しました。引き続き、顧客セミナーおよび資産相談会を積極的に開催し、お客さまへわかりやすい情報を提供します。
- 当組合は2025年6月から横浜市の小中高等学校向けの出張金融授業の受付を開始し、1校実施しました。今後も地域に根ざすJAとして、学生・先生方の学びを支援します。
- 金融に関する知識と判断力の向上をめざし、学生の皆さんが社会で役立つ力が身につく質の高い金融教育授業を実施します。

横浜市SDGs認証制度

Y-SDGs
– supreme –

（横浜市SDGs認証制度 / 私たち）は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

4 質の高い教育をみんなに

すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

- JAグループや専門家との連携し、質の高い教育を提供します。
- 学年・背景にかかわらず、誰もが学べる環境を整えます。
- 事前のニーズ調査を行い、受講者に合わせた授業を実施します。

KANAGAWA SDGs PARTNER
神奈川県 | SDGs未来都市　私たち一人ひとりの行動が、未来につながる。



©よりぞう

Ⅰ.取組状況

2　お客さま本位のご提案と情報提供（事業別）⑧
共済の事業活動（共済仕組み・サービスのご提案）

原則2本文および（注）
原則4
原則5本文および（注1～5）
原則6本文および（注1・2・4・5）

- 共済仕組み・サービスのご提案にあたっては、リーフレット・保障設計書・重要事項説明書(契約概要)を活用して分かりやすくご説明し、お客さま一人ひとりのご意向を適切に把握しております。
- お客さま一人ひとりのご意向に基づき、加入内容の確認・保障点検による、最良・最適な共済仕組み・サービスを提案しております。
- ニーズに合致したと思われる共済仕組み・サービスについては、重要事項説明書（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。

＜ご提案時の保障設計書＞



＜重要事項説明書（契約概要）＞



Ⅰ.取組状況

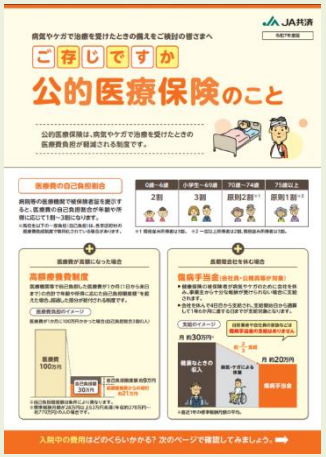
2　お客さま本位のご提案と情報提供（事業別）⑨
共済の事業活動（情報提供・契約締結時の対応）

原則2本文および（注）
原則4
原則5本文および（注1～5）
原則6本文および（注1・2・4・5）

- お客さま一人ひとりのご意向や状況に丁寧に寄り添い、各種公的保険制度等にかかる十分な情報提供を行っております。
- 情報提供にあたっては、お客さまのご意向を的確に把握・確認したうえで、保障内容をご理解・ ご納得いただくために、共済契約のお手続きに関するご案内・保障設計書・重要事項説明書（契約概要）などにより、分かりやすく説明しております。
- 保障設計書・重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）を通じてご提案した共済の仕組み・サービスがお客さま一人ひとりのご意向に沿ったものであるか確認しております。

＜公的保険制度に関するチラシ＞







＜重要事項説明書（注意喚起情報）＞



Ⅰ.取組状況

2　お客さま本位のご提案と情報提供（事業別）⑩

共済の事業活動（高齢者対応）

原則2本文および（注）
原則4
原則5本文および（注1～5）
原則6本文および（注1・2・4・5）

- ご高齢のお客さまの方については、ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時にはご家族の同席等を徹底するなどにより、きめ細やかな対応を行っております。
- 高齢者対応における親族等の同席の割合は、2026年3月末時点は64.8%となりました。

＜ご高齢の方への対応＞（2026年3月末時点）

親族等の同席の実施数（件）	親族等の同席の割合（%）
3,121	64.8

＜共済契約のお手続きに関するご案内＞





Ⅰ.取組状況

2　お客さま本位のご提案と情報提供（事業別）⑪

共済の事業活動（アフターフォローに関する考え方）

原則2本文および（注）
原則4
原則5本文および（注1～5）
原則6本文および（注1・2・4・5）

- 各種手続きの実施にあたっては、お客さまに分かりやすくご説明しております。
- 将来、ご自身によるお手続きが困難になった場合の備えとして、「指定代理請求人」にご家族を指定いただくことをご案内しております（生命総合共済の場合）。
- 支払い請求手続きの簡素化を推し進めるなど、お客さまの利便性向上に向けて取り組んでおります。
- ご加入後も、3Q活動を通じて加入内容の確認・保障点検、生活習慣病健診・人間ドックの受診の促進などお客さまに寄り添った取り組みを実施しております。
- 保障の加入にあたり、共済掛金の他にお客さまに手数料等はご負担いただいておりません。

＜3Q活動（近況確認）＞

3 Q活動実施数（人）
15,062
あんしんチェック実施数（人）
11,628

（2026年3月末時点）

＜3Q活動とは＞

・お客さまに「感謝の気持ち（サンキュー）」をお伝えするとともに、「3つの質問（Question）」を通じて近況の確認や共済金等の請求忘れがないかを確認する活動です。
・訪問による対面での3Q活動に加え、電話による「3Qコール」やオンライン面談など、非対面での方法も活用しながら、「安心」と「満足」をお届けしております。

Ⅰ.取組状況

3　利益相反の適切な管理

原則３本文および（注）

- 当組合では、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、農業協同組合法、金融商品取引法および関係するガイドラインに基づき、利益相反管理方針を定め、適切に管理しております。
- 営業部門から独立した総合リスク管理部を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。また、当組合の役職員に対し、本方針および本方針を踏まえた内部規則等に関する研修を実施し、利益相反管理についての周知徹底に努めます。
- 利益相反管理統括者は、利益相反のおそれのある取引の特定および利益相反管理を実施するとともに、その有効性を定期的に適切に検証し、改善いたします。
- 以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。

(1)利用者等と当組合の間の利益が相反する類型

取引例：抱き合わせ販売や優越的地位の濫用等に該当する取引を行う場合

(2)当組合の「利用者等と他の利用者等」との間の利益が相反する類型

取引例：グループ会社との取引に際し、アームズ・レングス・ルールに違反する場合

接待・贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合

Ⅰ.取組状況

4　お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

原則2本文および（注）
原則6（注5）
原則7本文および（注）

（1）　お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成

- 当組合では、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、コンプライアンスを順守した提案の実現に向けて「重要事項説明の研修」を開催予定です。
- 若手職員がお客さま本位の提案をできるようにするため、本店のインストラクターが提案活動に同行して、経済知識、商品知識を教えるだけではなく、お客さまのニーズに合った金融商品・共済・各制度の案内をできるようにサポートしております。
- 令和8年度は昨年度に引き続き、専門性の高い知識を身に着け、お客さまの相談に寄り添える職員を育成するために「資産形成リーダー育成プログラム」を開催する予定です。
- 金融のプロフェッショナルにふさわしい専門知識・スキルを備えた人材を育成するため、国家資格である1級・2級ファイナンシャル・プランニング技能士の取得を積極的に推進しています。

1級・2級ファイナンシャル・プランニング技能士
令和8年4月1日現在　　696名

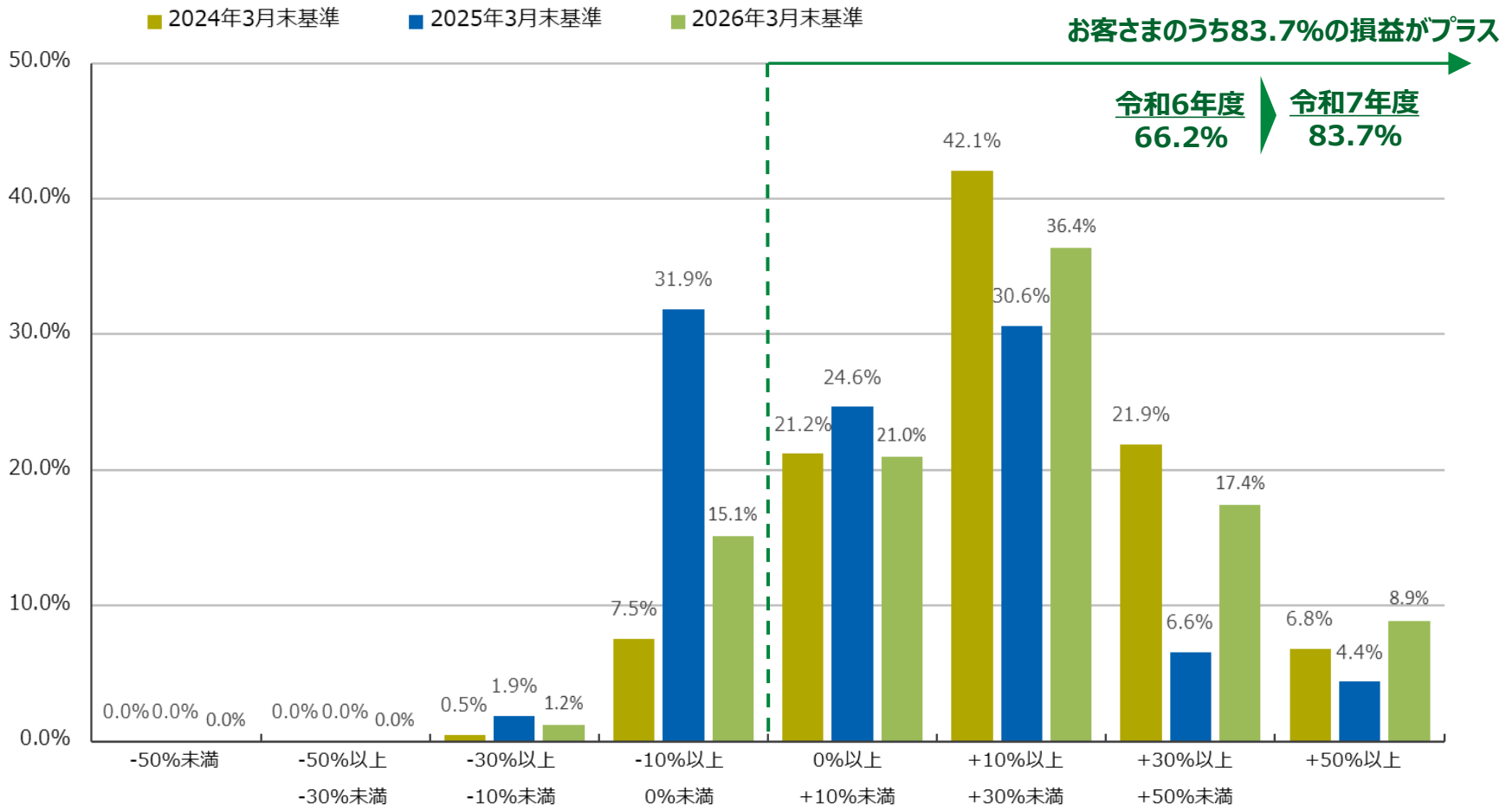
（2）お客さまの声を活かした業務改善

- 当組合は組合員説明会を実施し、お客さまからのご意見やご要望を誠実に受け止め業務改善に取り組んでおります。
- お客さま以外のご意見を幅広く収集するために、令和8年度は商業施設等でアンケートを取得して業務改善を行っていく予定です。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

1　運用損益別顧客比率（投資信託）

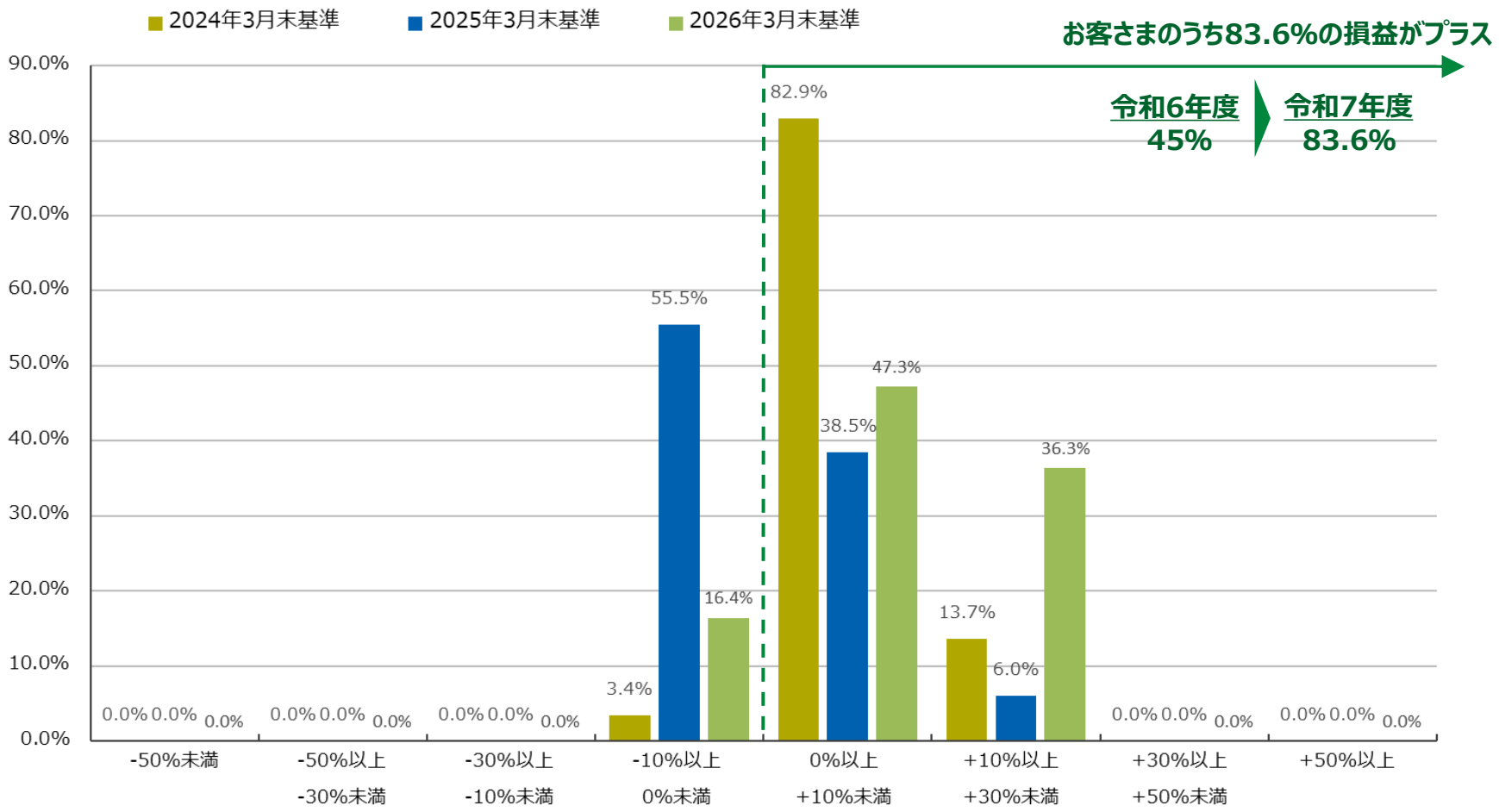
- お客さまに長期投資・資産分散・時間分散・コアサテライト戦略をご提案してきたことにより、2026年3月末時点では全体の83.7%のお客さまの損益がプラスで留まりました。



Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

1　運用損益別顧客比率（ファンドラップ）

- お客さまの目標に伴走するゴールベースアプローチや分散投資、長期投資に魅力を持って契約するお客さまが増加しました。
- 2026年3月末時点で全体の83.6%のお客さまの損益がプラスで留まりました。

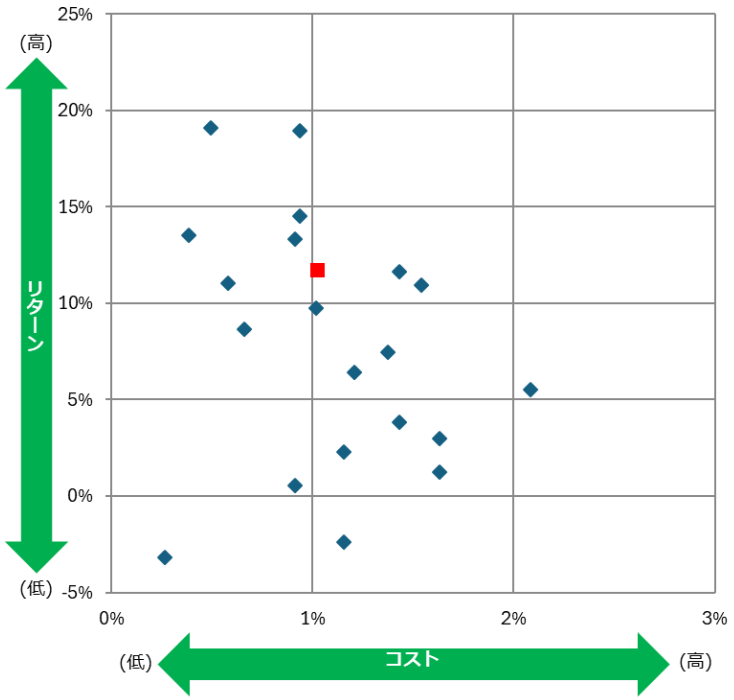


Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

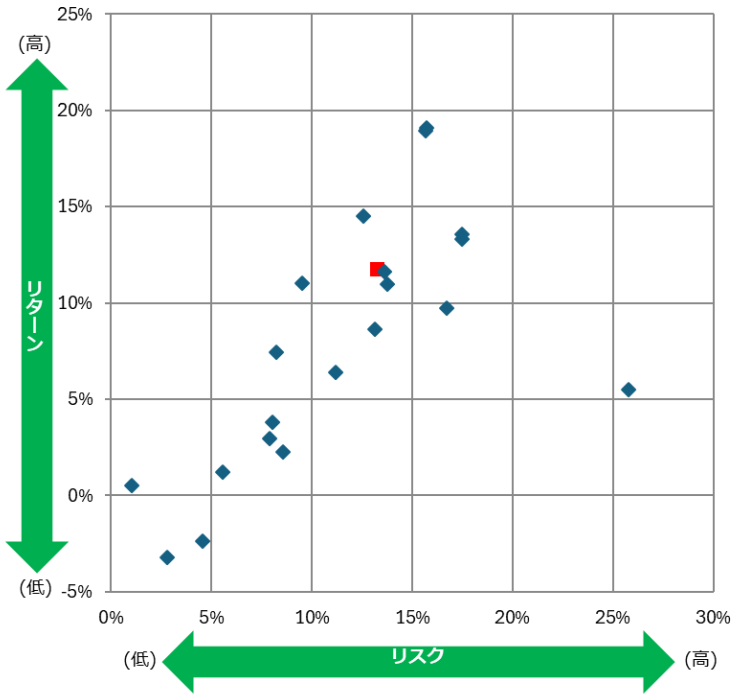
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト･リターン/リスク･リターン（1/3）（2026年３月末）

- 当組合では、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2026年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.02%、平均リスク13.28%に対して、平均リターンは11.74%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト･リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク･リターン＞



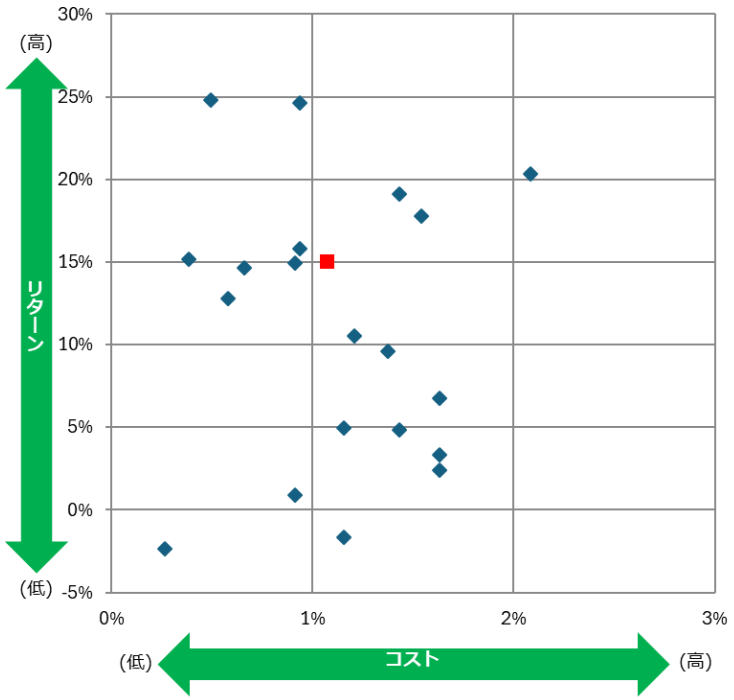
※各ファンドのコスト･リスク･リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

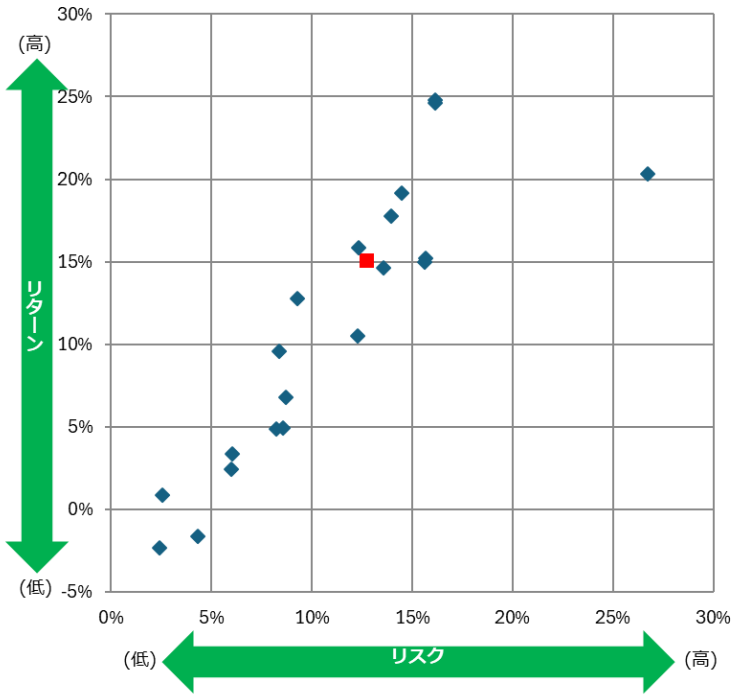
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト･リターン/リスク･リターン（2/3）（2025年３月末）

- 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.07%、平均リスク12.74%に対して、平均リターンは15.05%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト･リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク･リターン＞



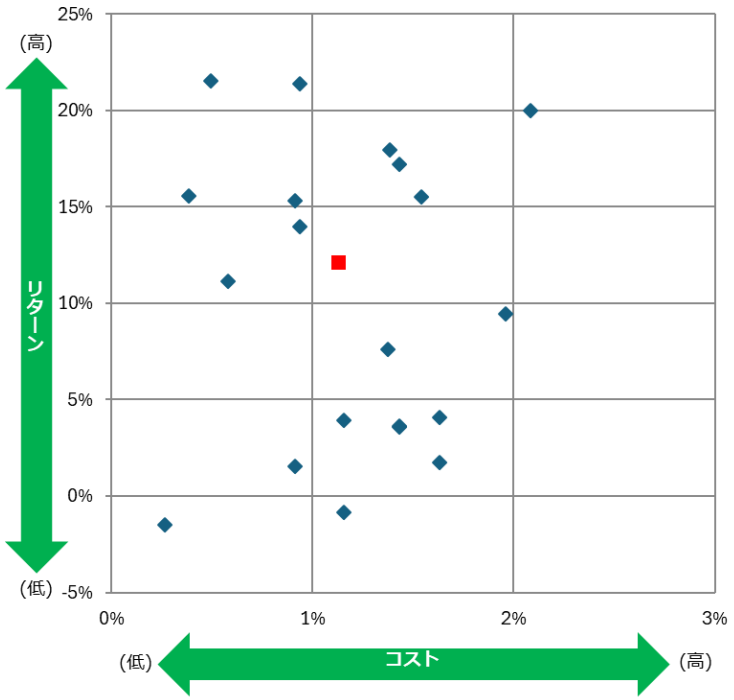
※各ファンドのコスト･リスク･リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

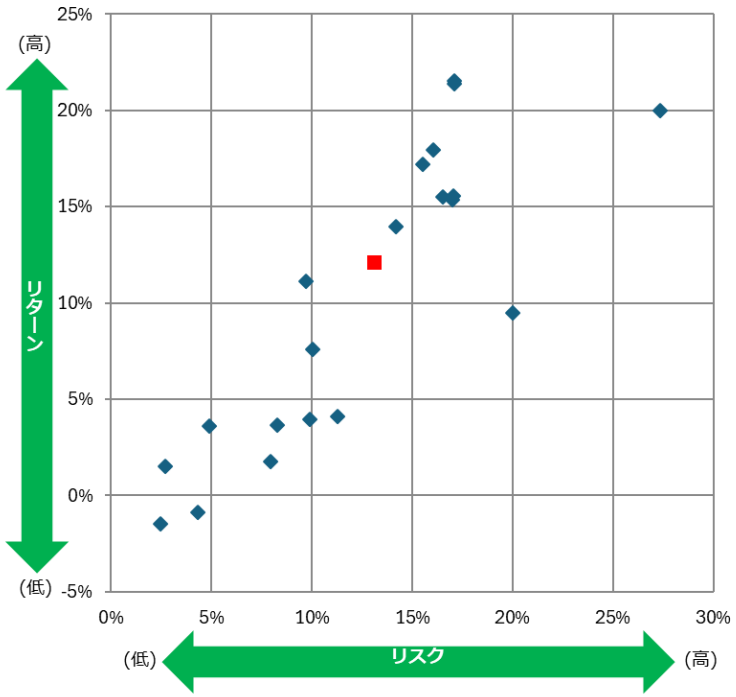
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト･リターン/リスク･リターン（3/3）（2024年３月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.13%、平均リスク13.13%に対して、平均リターンは12.10%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト･リターン〉



＜預り残高上位20銘柄のリスク･リターン＞



※各ファンドのコスト･リスク･リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

３　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト･リターン/リスク･リターン（1/3）（2026年３月末）

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	米国株式　S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	18.94%	15.69%	0.94%
2	長期厳選投資　おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	11.63%	13.63%	1.43%
3	つみたて米国株式　Ｓ＆Ｐ５００	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.09%	15.70%	0.50%
4	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.33%	17.47%	0.91%
5	日米６資産分散ﾌｧﾝﾄﾞ(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	2.28%	8.56%	1.16%
6	HSBC世界資産選抜　収穫ｺｰｽ(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント㈱	1.22%	5.57%	1.63%
7	おおぶねグローバル（長期厳選）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	8.63%	13.12%	0.66%
8	つみたて日本株式　日経２２５	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.54%	17.49%	0.39%
9	日米６資産分散ﾌｧﾝﾄﾞ(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-2.38%	4.57%	1.16%
10	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	11.04%	9.52%	0.58%
11	HSBC世界資産選抜　育てるｺｰｽ(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント㈱	2.97%	7.91%	1.63%
12	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	10.96%	13.78%	1.54%
13	おおぶねＪＡＰＡＮ（日本選抜）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	6.40%	11.20%	1.21%
14	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	5.51%	25.75%	2.08%
15	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne（株）	0.54%	1.03%	0.91%
16	One高格付インカム・オープン（毎月決算コース）	アセットマネジメントOne（株）	3.81%	8.07%	1.43%
17	ＪＡ　ＴＯＰＩＸオープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.52%	12.57%	0.94%
18	世界の財産３分法ファンド（毎月分配型）	アモーヴァ・アセットマネジメント（株）	7.44%	8.25%	1.38%
19	グローバル・リート・インデックスファンド（資産形成型）	大和アセットマネジメント（株）	9.75%	16.70%	1.02%
20	ＪＡ日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-3.20%	2.78%	0.26%
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		11.74%	13.28%	1.02%

※ 2026年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は20本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン･リスク･コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

3　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト･リターン/リスク･リターン（2/3）（2025年３月末）

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	米国株式　S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.62%	16.15%	0.94%
2	長期厳選投資　おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.14%	14.48%	1.43%
3	日米６資産分散ﾌｧﾝﾄﾞ(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.93%	8.59%	1.16%
4	つみたて米国株式　Ｓ＆Ｐ５００	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.77%	16.16%	0.50%
5	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.96%	15.62%	0.91%
6	HSBC世界資産選抜　収穫ｺｰｽ(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント㈱	3.35%	6.05%	1.63%
7	日米６資産分散ﾌｧﾝﾄﾞ(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-1.66%	4.34%	1.16%
8	おおぶねグローバル（長期厳選）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	14.63%	13.58%	0.66%
9	HSBC世界資産選抜　育てるｺｰｽ(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント㈱	6.76%	8.71%	1.63%
10	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	12.76%	9.29%	0.58%
11	つみたて日本株式　日経２２５	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.19%	15.67%	0.39%
12	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	17.77%	13.93%	1.54%
13	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne（株）	0.87%	2.57%	0.91%
14	おおぶねＪＡＰＡＮ（日本選抜）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	10.52%	12.27%	1.21%
15	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	20.35%	26.74%	2.08%
16	ＤＩＡＭハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne（株）	4.84%	8.22%	1.43%
17	ＪＡ　ＴＯＰＩＸオープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.82%	12.33%	0.94%
18	ＪＡ日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-2.36%	2.41%	0.26%
19	世界の財産３分法ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント（株）	9.60%	8.39%	1.38%
20	ＨＳＢＣ世界資産選抜　充実生活コース（定率払出型）人生１００年時代	HSBCアセットマネジメント㈱	2.42%	5.98%	1.63%
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		15.05%	12.74%	1.07%

※ 2025年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は20本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン･リスク･コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

3　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト･リターン/リスク･リターン（3/3）（2024年３月末）

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	米国株式　S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.40%	17.11%	0.94%
2	長期厳選投資　おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	17.22%	15.52%	1.43%
3	日米６資産分散ﾌｧﾝﾄﾞ(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	3.95%	9.89%	1.16%
4	農中日経２２５オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.34%	17.00%	0.91%
5	日米６資産分散ﾌｧﾝﾄﾞ(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.86%	4.33%	1.16%
6	HSBC世界資産選抜　収穫ｺｰｽ(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント㈱	1.75%	7.95%	1.63%
7	つみたて米国株式　Ｓ＆Ｐ５００	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.55%	17.11%	0.50%
8	HSBC世界資産選抜　育てるｺｰｽ(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント㈱	4.09%	11.30%	1.63%
9	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne（株）	1.52%	2.73%	0.91%
10	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	11.15%	9.72%	0.58%
11	つみたて日本株式　日経２２５	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.57%	17.06%	0.39%
12	ＤＩＡＭハッピークローバー毎月決算コース	アセットマネジメントOne（株）	3.64%	8.31%	1.43%
13	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	15.53%	16.54%	1.54%
14	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	19.98%	27.37%	2.08%
15	ＪＡ　ＴＯＰＩＸオープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	13.95%	14.20%	0.94%
16	ＪＡ日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-1.47%	2.46%	0.26%
17	世界の財産３分法ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント（株）	7.59%	10.06%	1.38%
18	ＪＡ資産設計ファンド（安定型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	3.60%	4.91%	1.43%
19	ダイワ・グローバルＲＥＩＴ・オープン	大和アセットマネジメント（株）	9.47%	20.01%	1.96%
20	ＮＺＡＭ日本好配当株オープン３ヵ月決算型	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	17.95%	16.04%	1.39%
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		12.10%	13.13%	1.13%

※ 2024年３月末基準時点における共通ＫＰＩの対象となるファンド数は20本となります。
※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン･リスク･コストを算出して表示しております。

JA横浜
Yokohama

